

# 夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年



我が国十何万の精神病者は実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。精神病者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず。 呉秀三

## 上映会情報

平成31年3月5日(火)

13:30~(開場13:00)

会場:春日市クローバープラザ

定員:288名(先着順)

鑑賞料金:当事者400円

(前売り)当事者以外800円

## 今井友樹監督作品

企画 豚井克徳/監修 広瀬徹也  
プロデューサー 中橋真紀人/撮影 小原信之/編集 古賀陽一  
協力 一般社団法人 障害者映像文化研究所/バリアフリー版制作 Palabra株式会社  
製作協力 株式会社 工房ギャレット  
製作 記念映画製作委員会 公益財団法人 日本精神衛生会/きょうされん/有限会社 イメージ・サテライト  
ドキュメンタリー/2018年/66分/BD

ナレーション 竹下景子

# 心を病んだ人々は、なぜ閉じ込められなければならないのか？ 精神の病とは…、人間の尊厳とは…、いま突きつけられる問いかけ！



松沢病院の呉秀三肖像

呉秀三（くれしゅうそう）は、今から百年前の時代に東京大学医学部精神科の教授として、異例の社会的な取組みを進めた先達者である。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走した。その土台となった報告書『精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的觀察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけた。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどうなっているのだろうか？

精神障害者をめぐる問題は一つの国の在り方を左右する重大なものであり、欧米でも改革が進められている。何故なら、

人口の1%プラスアルファが精神疾患を発症するという前提のもと、全ての国民が理解と対処を迫られているからである。

しかし、古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられている。2017年12月の「寝屋川市監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人々に衝撃を与えた。しかし、このような事例はまだ少なからず存在すると関係者は指摘する。こうしたタイミングで、この課題に一貫して取り組んできた精神医療保健の専門家組織である公益財団法人 日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎える きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）が提携して製作したのが本作である。

長編第1作『鳥の道を越えて』で高い評価を得た今井友樹監督（工房ギャレット代表）が、先輩である小原信之カメラマン（民俗文化映像研究所代表）とタッグを組み、2003年の記録映画の最優秀作として注目を集めた夜間中学の

記録映画『こんばんは』（毎日映画コンクール記録文化映画賞／文化庁映画大賞）の編集を担った古賀陽一編集マンを迎え、その『こんばんは』、重度重複障害児を育てる家族を描いたアニメ『どんぐりの家』（きょうされん20周年／山本おさむ原作・脚本）や、精神障害者の社会復帰を描く劇映画『ふるさとをください』（きょうされん30周年／脚本：ジェームス三木）で指揮をとった中橋真紀人プロデューサー（イメー

ジ・サテライト代表）のもとでパッションとパワーを注いだ。呉秀三研究の第一人者・岡田靖雄先生（精神科医療史研究室代表／元・松沢病院医師）、「座敷牢」問題の調査研究を続ける橋本明先生（愛知県立大学教授）、日本の精神科医療のトップに位置する都立松沢病院の齋藤正彦院長というキー・パーソンへのインタビューを軸に構成された本作品は、これまでの100年を見つめ直し、これからの100年を考える貴重な映像的素材と言えるだろう。

作品の中に登場する資料には、現存する2冊のみの「私宅監置」報告書（1冊は岡田先生の手元に、もう1冊は国会図書館！）、呉秀三の初めての著作の初版本、家族にあて欧州から送った絵葉書（既に所在不明!?!）、秘蔵されていた数枚の写真（東大医学図書館に保管）などがある。日本で初公開！呉秀三の欧州留学先での足跡——彼が1900年前後に留学・視察したヘルギーとオーストリア（ウィーン大学）に残されている「自筆の署名」を求めて海外ロケを敢行し、彼の下宿アパートもカメラに収めてきた。



東京大学安田講堂



資料館の「拘束具」



海外ロケ（ウィーン）



## 映画・シンポジウム2部構成にて開催します！！

- ① 映画上映「夜明け前」～呉秀三と無名の精神障害者の100年～
- ② シンポジウム「今、求められる精神障がい者福祉」

開催日時：平成31年3月5日（火）13時30分から15時45分まで

会場：春日市クローバープラザ内、クローバーホール

観覧料：前売（精神障がい当事者 400円、当事者以外 800円）

当日（精神障がい当事者 500円、当事者以外 1,000円）

主催：（公社）福岡県精神保健福祉会連合会

共催：きょうされん

後援：福岡県、福岡県精神科病院協会

## <映画前売 申込書> FAXにてお申込みの後、当日こちらの申込書と代金をご持参下さい

福精連FAX：092-292-0561 申込〆切日：2月28日（木）

番号	所属	氏名	当事者以外	当事者	金額
例	福精連	福精連 太郎	○		800
1					
2					
3					